〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com
市立大町山岳博物館公式 Web サイトは、
大町山岳博物館友の会の支援により博物館が運用しています。

OMACHI ALPINE MUSEUM
市立 大町山岳博物館

山と博物館

「山と博物館」は、大町市役所および市内社会教育施設で、設置・配布しているほか、博物館公式 Web サイトからもご覧いただけます。

5月号
第 62 巻　第 4 号
2017 年

無 料
Free

もくじ

今月の１枚 …… １ページ
・「もるげんろーと」引き続きよろしくお願いします
さんぱく研究最前線 …… ２ページ
・寒さに強い！ いやそうでもない!? どっちなんだろう? ミズバショウ
イベントのご案内 …… ３ページ
・さんぱく付属園まつり ・鷹狩山 春のバードウォッチング
博物館のひろば …… ３・４ページ
・安曇野アートライン展 in 銀座NAGANO ・大北法人会様からカメラご寄付
・カクネ里雪渓（氷河）展示パネル設置 ・『研究紀要第２号』発行
・専修学校生インターンシップ（動物飼育研修）受け入れ
お知らせ …… ４ページ
・人事異動

博物館施設案内
はこちら

山岳博物館ミュージアムカフェ・ショップ

「もるげんろーと」引き続きよろしくお願いします

清水　隆寿

博物館の付帯施設であるミュージアムカフェ・ショップの運営主体が、博物館友の会から民間委託に代わり、ミュージアムカフェ・ショップ「もるげんろーと」（代表：山内 優）に引き継がれ早いもので3年が過ぎました。あらためてこれまでの皆様のご愛顧に感謝を申し上げます。

さて平成29年3月末をもって上記事業者による施設の使用期限が切れることから、改めて経営者を公募し、審査を実施したところ、引き続き「もるげんろーと」に運営を行なっていただくこととなりました。

同施設では、博物館をご利用いただく皆様の利便性の向上を図ることを目的に、飲食等の提供の他、山岳博物館ならではのオリジナル商品や山岳書籍、展示図録など数多くのミュージアムグッズを今後とも取り揃えてまいりたいと思います。

北アルプスの展望を眺めながら、ゆっくりと山談議に興じつつ、喫茶や軽食を楽しむことのできる寛ぎの場として引き続きご利用いただきますようご来館をお待ちしております。

（市立大町山岳博物館 副館長）

■営 業 日　博物館開館日に準じます。ただし12月～３月の期間は、土・日・祝日の営業のみが基本となります。詳細は、お問い合わせください。
■営業時間　午前９時30分～午後４時30分
※季節により営業時間などの変更があります。
※カフェ・ショップのみのご利用に、博物館入館料はかかりません。
■問い合わせ先　TEL090-5996-5013（代表：山内 優）

イベントのご案内

山岳博物館　市民「無料」開放デー

博物館では、毎月第３日曜日（家庭の日）とその前日の土曜日を「大町市民無料開放デー」としています（これらの日については、大町市民以外の長野県民は団体割引料金でご覧いただけます）。５月は20日（土）と21日（日）です。

さんぱく付属園まつり

山岳博物館では、動植物を飼育栽培する付属園（動植物園）を屋外に併設しています。本年度も「付属園まつり」として付属園にいる動物に焦点を当てた各種催しを実施します。付属園の役割や飼育動物について知っていただき、皆様に付属園を身近に感じていただければ幸いです。また、大町市周辺地域の野生動物や自然環境への興味関心を抱く助けとなるようなおまつりです。

会　　期　平成29年４月29日（土・祝）～５月７日（日）
日　　時　催しごとに日時が異なります。
会　　場　山岳博物館付属園
問い合せ　山岳博物館　TEL 22−0211　FAX 21−2133

①「ふぞくえんで餌やり体験！」

付属園で飼育しているキツネなどに餌をあげてみませんか？今年から開催するイベントで、飼育員さんたちがどんなお仕事をしているか、その一端を体験することができます。

□開 催 日　４月29日（土・祝）、５月６日（土）
□時　　間　午前11時～
□対象・定員　小学生、各日とも先着20人
□申し込み　各日の前日までに、電話または直接博物館まで。

②「ふぞくえんスタンプラリー」

付属園の飼育動物を観察しながら、園内のオリジナルスタンプを押して集めてみましょう。最後には、特大スタンプを山岳博物館窓口で押して完成です。スタンプは飼育員さんの手作り！ 今回はどんな絵柄が用意されているのでしょう…？お楽しみに！

□開 催 日　４月29日（土・祝）～５月７日（日）
□時　　間　午前９時～午後４時30分　※雨天中止
□申し込み　どなたでもご参加いただけます。当日、付属園にお越しください。

③「どうぶつ観察ツアー」

付属園で、普段はなかなか近くで見ることができない飼育動物たちを、間近で一緒に観察しませんか。飼育員が皆さんと一緒に園内を回り、飼育している動物たちのことを詳しくお話します。

□開 催 日　４月30日（日）、５月３日（水・祝）、４日（木・祝）、５日（金・祝）、７日（日）
□時　　間　午後１時30分～（30分程度）※少雨実施（大雨中止）
□申し込み　どなたでもご参加いただけます。当日、ツアー開始時刻までに付属園入口にお越しください。

④「おおまぴょんとあそぼう」

付属園には、大町市公式キャラクター「おおまぴょん」のモデルのニホンカモシカを飼育展示しています。会える機会の少ない「おおまぴょん」とふれあいませんか？ お待ちしております。

□開 催 日　４月30日（日）、５月３日（水・祝）、５日（金・祝）
□時　　間　午後２時～（30分程度）
※雨天時は館内にて
□申し込み　どなたでもご参加いただけます。当日、開始時刻までに付属園入口にお越しください。

鷹狩山 春のバードウォッチング

鷹狩山へバードウォッチングに行きませんか？ 春はオオルリなど、30～40種類の野鳥が観察できます。当日は講師２人が、一緒に歩きながら鳥たちの見た目や生活について解説します。朝のすがすがしい空気の中、野鳥の観察を通して、地域の生態系や自然環境について考えましょう！ 友の会から豚汁の提供もあります。

□共　　催　山岳博物館友の会
□開 催 日　５月13日（土）
□時　　間　午前５時30分～午後０時30分　※小雨実施
□対象・定員　大町公園～鷹狩山山頂を徒歩で往復できる人、先着20人
※小学３年生以下は保護者同伴
□参 加 費　一般の方：500円、友の会会員の方：無料。
□申し込み　５月11日（木）までに、電話または直接山岳博物館へ。

さんぱく研究最前線 ―北アルプスの自然と人 トピックス―

寒さに強い！　いやそうでもない!?
どっちなんだろう？ ミズバショウ

千葉　悟志（市立大町山岳博物館　学芸員）
尾関　雅章（長野県環境保全研究所　研究員）

山岳博物館では、大町山岳博物館友の会の方たちといっしょに居谷里湿原（昭和46年、長野県天然記念物指定）に生えているミズバショウについて、芽生えてから花を咲かせるまで何年かかるのか育て、観察してみました。
その結果、発芽した年を1年目とすると、開花するまでに8年かかることがわかりました。

果序はたくさんの漿果が集まってできています。

果序（夏）

（肉穂）花序は熟すと果序と呼ばれるようになります。

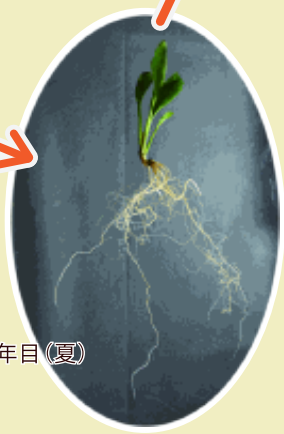
漿果のなかに種子があります。

種子はゼリー状の物質に包まれています。

発芽（1年目の夏）

種子は散布されてから、2週間ほどで発芽します。

1年目（秋）



2年目（夏）

4年目（夏）

8年目（春）

成長

観察をとおして

本州でミズバショウが生えている場所（分布）は、主に中部以北の日本海側に限られています。
なぜ、分布が限られているのでしょうか。
それは、まだわかっていませんが、流水と水温が関係しているかもしれません。流水は種子を運ぶのに重要であることはもちろんですが、寒い時期の水や土壌の凍結を防ぎます。また、居谷里湿原では、冬は気温よりも水温が高く、夏は低い状態となり、冬は暖かく、夏はすずしい環境にあると言えます。
ミズバショウは、寒い地域に分布しているので、寒さに強そうに思えますが、じつは、このような条件の整う場所にのみ生育が可能で、それゆえに、分布が限定されているのではないかと、私たちは考えています。
これはあくまでも推論にすぎませんが、博物館では今後も地域の自然をとおして、不思議を見出し、新たな発見をみなさまにお伝えしたいと考えています。

この研究についての詳細は、市立大町山岳博物館研究紀要2（2017）「居谷里湿原（長野県大町市）におけるミズバショウの生活史について－日本産草本植物の生活史研究プロジェクト報告第8報－」をご覧ください。
研究紀要（Online edition : ISSN 2432-1680）は、市立大町山岳博物館公式Webサイトでもご覧いただけます。

ボタニカルアート：山田　恭子

博物館のひろば

つぎの方は、年間を通じて博物館の観覧料が無料です。
・大町市内在住の 65 歳以上の方
・大町市内の小学校・中学校に通う児童・生徒の方
（入場の際、受付にてお名前等をご記入ください）

安曇野アートライン展in銀座NAGANO

平成29年２月18日（土）～21日（火）

安曇野アートライン展が今年も長野県のアンテナショップである「銀座ＮＡＧＡＮＯしあわせ信州シェアスペース」を会場に開催されました。

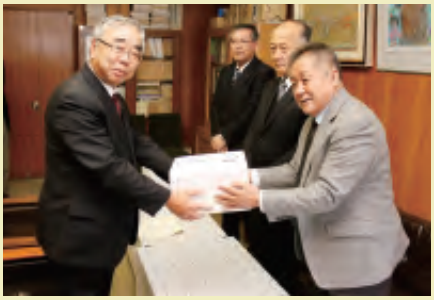
会場には、各美術館・博物館から「本物を展示する!!」にこだわった絵画、トルソーなどが出品され、加えて連日ワークショップ、ミュージアムトークも開催され多くの方々が来場されました。

山岳博物館では、中村清太郎「槍の雪渓」（制作年不詳・油彩）を出展しました。

なお、来年度からは県内のアートライン類似団体持ち回りによる年１回、１団体の開催となります。

大北法人会様からカメラご寄付

平成29年２月19日（日）



大北法人会大町支部（薄井朋介支部長）より、この度、地域社会貢献事業の一環として大町山岳博物館のライチョウ飼育事業を取り上げていただき、山岳博物館で希望した「望遠レンズ付カメラ一式」を寄贈していただきました。

寄贈いただいたカメラは望遠が利くため、必要以上にライチョウにストレスを与えることなく、リラックスした姿を撮影することができるようになりました。また、広報用だけでなく、日常的なライチョウの換羽の様子や糞便の状態などを記録し、飼育繁殖の技術確立のための情報蓄積・共有にも活用しています。

カクネ里雪渓（氷河）展示パネル設置

平成29年３月14日（火）～

カクネ里雪渓が氷河と認定されるであろう日も、日に日に近付いています。

４月からは入館者も増え始めることから、カクネ里雪渓が本邦４番目の氷河に認定されることに期待が高まっていることを紹介するパネルを２階展示室の入口に設置しました。

このパネルはカクネ里が氷河と認定されるまでの展示となり、氷河に認定された後は現在壁面に展示されている「立山の氷河」に代わり、立山・剱の氷河とともに「（仮称）日本の氷河」としてカクネ里氷河を紹介する壁面展示資料の作成に取り掛る予定です。

専修学校生インターンシップ（動物飼育研修）受け入れ

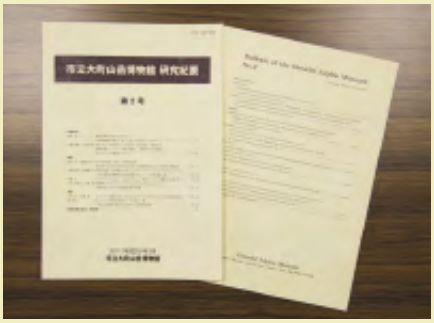
平成29年３月16日（木）～20日（月・祝）

当館では教育普及事業の一環として、動物関係の専修学校からインターンの受け入れを行っています。今回は東京環境工科専門学校の学生を１人受け入れました。インターンシップの内容として、飼育員の指導の下で、飼育業務を行っていただきました。業務を通して、動物たちの管理方法の一部を体験していただくとともに、飼育動物に対する接し方などを学んでいただきました。

７日間という短期間ではありますが、当館での飼育業務の経験が将来における職業選択に役立てば幸いです。

『研究紀要 第２号』発行

平成29年３月31日（金）



当館では、調査研究で得られた学術情報を資料収集保管や教育普及へ展開するという博物館活動の良好な循環体制の構築を進めるため、27年度、『研究紀要』を創刊しました。本誌では、北アルプスと周辺地域の自然科学、人文・社会科学諸分野の調査研究に関する学術的な成果情報を収録しています。

28年度は、３月末に『研究紀要　第２号』（Ａ４判・カラー68頁）を発行しました。なお、本誌バックナンバーは当館公式ウェブサイト上にてオンライン版（PDF）として公開中ですので、ご高覧ください。

お知らせ　人事異動

平成29年４月１日付で、山岳博物館スタッフに次の異動がありました。

事務員（臨時職員）…長澤良好（新任）
動物飼育員（臨時職員）…富所由希（新任）
事務員（臨時職員）…北村洋子（退職）
動物飼育員（臨時職員）…戸谷諭美（退職）

なお、以下のスタッフは引き続きかわりありません。

館　長…鳥羽章人　副館長…清水隆寿
学芸員…千葉悟志・関　悟志・佐藤　真
専門員（嘱託職員）…矢野孝雄
指導員（嘱託職員）…西田　均・宮野典夫
動物飼育員（臨時職員）
…遠藤モナミ・内田木野実・多田晴彦

編集・発行
市立大町山岳博物館 OMACHI ALPINE MUSEUM
— 創立 1951 年 —
〒398-0002　長野県大町市大町 8056-1
市立大町山岳博物館　編集責任者　鳥羽章人
TEL. 0261-22-0211 FAX. 0261-21-2133
✉ E-mail:sanpaku@city.omachi.nagano.jp
URL:http://www.omachi-sanpaku.com

5月号
第 62 巻 第４号
2017 年

発行日　2017（平成 29）年４月 25 日
印　刷　有限会社北辰印刷
〒398-0002 長野県大町市大町 3871-1
TEL.0261-22-3030 FAX.0261-23-2010